

祝 NPO法人子どもの国 「博報賞」 受賞 祝

特定非営利活動法人 子どもの国  
(国際文化・多文化共生教育・日本語教育)

【活動タイトル】放課後学習支援活動を通じた子どもの健全育成事業

講評

外国籍の子どもたちに対し、20年以上の長きに渡り、「基礎的な学力の定着」という、地道な実践に真摯に取り組んでいる団体である。学習の支援は、個を尊重したオリジナリティを有するとともに、子どもたちの自己効力感の向上や学習へのモチベーションを維持させるものとなっている。また、地域の大学生や企業スポーツ団体との積極的な協働や、卒業生への支援が継続されている点も賞賛すべき内容となっている。今後も、この取り組みをさらにブラッシュアップさせ、本実践をモデルとした、多くの子どもたちへの支援が、全国に発信されることを期待する。

# 子どもの国 だより

2021年12月発行 Vol.45



新聞にも載りました。



とよた市民活動センター  
長期継続団体表彰式



令和3年10月30日(土)  
とよた市民活動センター設立20周年記念事業が開催されました。その記念事業において、NPO法人子どもの国も、長期継続団体として、表彰されました。



- 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」  
小学生：月曜日～金曜日 14:00～18:00  
中学生：火曜日、水曜日、金曜日 14:00～18:00  
月曜日、木曜日 14:00～19:30
- 青少年の健全育成のための事業  
問題を抱えた子どもとその家族に対し  
随時相談・援助を行なう
- 青少年の自立支援事業「そら」  
木曜日：午後6時30分～8時30分
- 交流会
- 幼児の日本語教室「ジャルジン」



幼児のための日本語教室  
「ジャルジン」

「あいうえお」表  
を作ったよ。

楽しく日本語を  
勉強しています！！



伊保教室  
(伊保子ども園)  
毎月第2、第4木曜日

保見教室  
(保見公団142棟第1集会所)  
毎週火曜日

# ゆめの木教室

「ゆめの木教室」ではスタッフ間で子どもの様子を共有するため、毎日メールで報告を行っています。  
令和3年11月 ある日の「ゆめの木教室」報告

1年：10~20のたし算、おはじきの絵を使いながら勉強しました。

文字を一字一字よく見ないで読んでしまいます。

2年：文の中からカタカナで書く言葉を探すことができませんでした。

長音の表記の仕方を忘れていました。

3年：「ゆめの木」の課題まで全てできました。九九の間違えは「3×7」のみです。

4年：伝聞の形「~そうだ」を使った問題は何となくできました。

理由を表す「~からです」は説明したらできました。

5年：分数の問題では、約分をして、更に帯分数にするのを頑張りました。

6年：分数の計算は暗算ですべてやれます。漢字の宿題は書き直しをやりました。

中学生：月末のテストに向けて、理科を重点的に学びました。

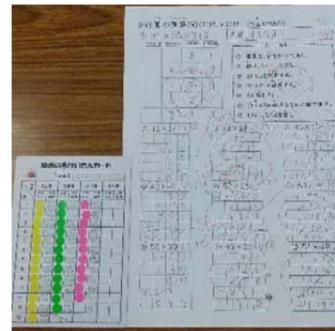


## 「ゆめの木教室」計算カード

合格すると、ポイントシールがもらえます。  
計算はよくなっているかな？



「鬼滅の刃」のキャラクターが、応援してくれるよ！  
問題によっては、30秒で言わないといけなんだよ！



## 出席確認(オンライン)

10月から出席確認をオンラインで行っています。

子どもたちは、「ゆめの木教室」に到着したら、まず自分の出席カードをタブレットにスキャンします。

この情報は保護者の携帯にも通知されるので、いつ子どもたちが「ゆめの木教室」に到着して、いつ「ゆめの木教室」を出るのが把握できる便利なシステムになっています。

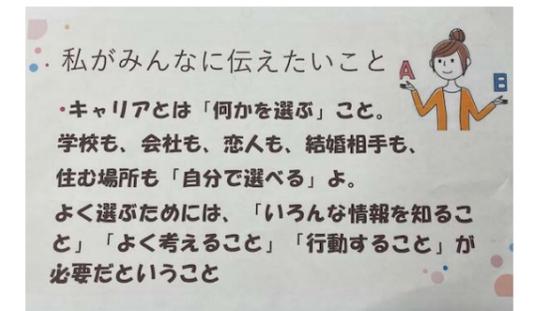
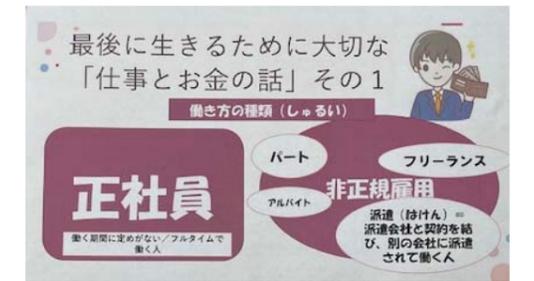
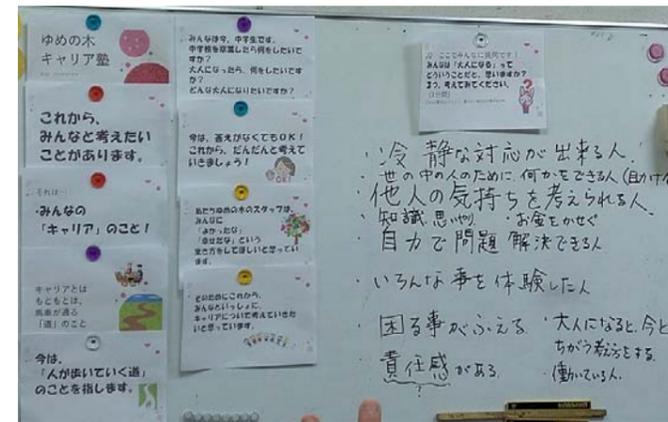


# キャリア塾

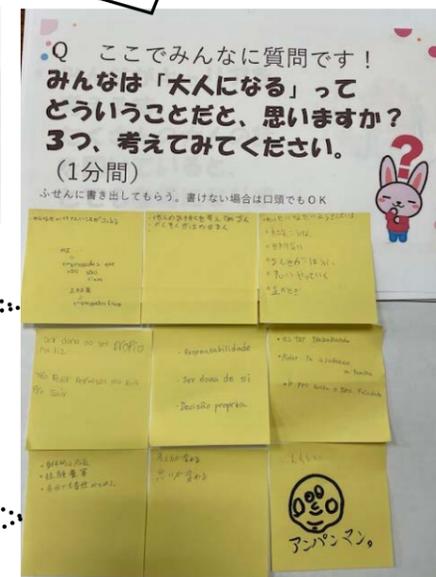
「ゆめの木教室」では、外国につながる生徒に対して、仕事について考え、自分自身の将来を展望してもらうこと、それによって日々の学習へとつなげる行動を促すことを目的に「キャリア塾」を開催しました。第一回は「そもそも仕事ってなんだろう」をテーマに、仕事はどんなものなのか、どうして仕事があるのか考えました。

中学生は真剣に話を聞き、「大人とは」と考える場面では、たくさんのいい意見がでました。

「第2回キャリア塾」では、「身近な人はどう仕事を考えているの？<家族編>」をテーマに、仕事/キャリアについて考えていきます。



「大人になる」ってどういうこと？



責任 自立

他人の気持ちを考えられる人  
約束が果たせる人



仕事をする  
家族を支援する  
高校と大学へ行く

冷静な対応  
社会貢献  
助け合い  
豊富な知識  
思いやり  
お金を稼ぐ